

科目名	オートクチュール技術Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	540	作成者	大西 智子

【科目の到達目標】

オートクチュールの意味を理解し、基本的な縫製技術から高度な縫製技術までを修得し、美しいシルエット作りや体型、素材に応じたパターン作成、縫製が出来る人材の育成

【科目の概要】

それぞれの体型に合った服作りの根源を見直し、基本的な縫製技術を踏まえた上で、高級な素材での高度な裁断、縫製技術を修得し、各個人の身体に合った美しいシルエットに仕上げる為の平面パターン及びドレーピング技術にて立体的なシルエット作り、的確なパターン作成を修得する

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1～15	A (4コマ/W×15) テーラードスーツ テーラードスーツ 寒冷紗本身仮縫い、後の補正・パターン作成、布印しつけ	A (4コマ/W×15) テーラードスーツ テーラードスーツ 見返し釦ホール、ポケット作り、ポケットつけ、袖作り
16～30	テーラードスーツ オーガンテープ、芯すえ、くせ取り、袴づくり、組み立て	テーラードスーツ ベルト、ファスナー付け、裾始末、再仮縫い
31～45	テーラードスーツ 本布仮縫い、後の補正、ダーツ 脇線 地縫い、始末	テーラードスーツ 裏地縫い合わせ、袖地縫い、袴つけ、肩パッドつけ
46～60	テーラードスーツ 衿、芯、テープ、胸、肩増し芯、裏地裁断、地縫い、虫どめ	テーラードスーツ 裏地地縫い合わせ、提出
	B(4コマ/W×15)ケミカルレースのボレロ サッシュベルト	B(6コマ/W×15)ファンデーション ベルベットワンピース
61～70	ケミカルレースのボレロ 製図、寒冷紗半身仮縫い、地直し	ファンデーション 製図、裁断、縫製、提出/寒冷紗半身仮縫い、布地直し
71～80	ケミカルレースのボレロ 寒冷紗両身組立て、テープ、地の目し、仮縫い、後補正、印つけ	ファンデーション 寒冷紗両身仮縫い、テープ、補正、印つけ、ボーンテープ
81～90	ケミカルレースのボレロ テープ貼り、本布仮縫い、仮縫い後補正	ファンデーション 組立て、本仮縫い
91～100	ケミカルレースのボレロ 縫製	ファンデーション 後補正、本縫い、縫い代かがり、テープボーンテープ
101～110	ケミカルレースのボレロ 再仮縫い、スカラップつけ	ファンデーション ファスナーつけ、グログランテープ裾まつり、仕上げ、提出
111～119	ケミカルレースのボレロ 提出	ベルベットワンピース 製図、寒冷紗半身仮縫い、地直し、両身組立て、テープ地の目
120	サッシュベルト	ベルベットワンピース 寒冷紗両身仮縫い、後補正、印つけ、芯据え、テープ
		ベルベットワンピース 本布仮縫い、後補正、見返し、裏地裁断
		ベルベットワンピース 縫製
		ベルベットワンピース 提出

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版 上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版
教員作成オリジナルプリント『オートクチュール技術』 プリント配布

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式 筆記用具
実物作品、部分縫い見本

科目名	RTW技術	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 10% 実習 80%
時間数	120	作成者	江田 泉

【科目の到達目標】

既製服(Ready to wear)のデザイン・パターン・カッティング・縫製の一貫した知識と技術を修得する。

【科目の概要】

ファッション産業において生産拠点は海外に移行している時代ではあるが、オリジナルデザインの製作技術の伝承は不可欠である。本授業では色々な種類の素材の縫製方法を学び、素材に応じた工業パターンへの展開、縫製工程、縫製仕様の理解を深める。各自の創作性を生かした作品を製作発表する

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
	<p>プレタポルテ展示会作品</p> <p>1・2 製図・トワール組み</p> <p>3・4 トワール組みチェック・パターン修正</p> <p>5・6 審査後の補正・裁断</p> <p>7・8 裁断・実物組み立て</p> <p>9・10 縫製</p> <p>11・12 縫製</p> <p>13・14 縫製・仕上げ</p> <p>子供服ドレス</p> <p>15・16 裁断・縫製仕様書指示書作成・縫製</p> <p>17・18 縫製</p> <p>19・20 縫製</p> <p>21・22 縫製</p> <p>23・24 まとめ・発表・提出</p> <p>レース使いのランジェリー</p> <p>25・26 パターン作成・裁断・縫製</p> <p>27・28 縫製</p> <p>29・30 縫製</p>	<p>レース使いのランジェリー</p> <p>31・32 縫製</p> <p>33・34 縫製・仕上げ・提出</p> <p>上田学園コレクション作品</p> <p>35・36 製図・トワール組み立て</p> <p>37・38 トワール組みチェック・パターン修正</p> <p>39・40 修正・裁断・仮縫い組み立て</p> <p>41・42 補正・実物組み立て</p> <p>43・44 縫製</p> <p>45・46 縫製</p> <p>47・48 縫製</p> <p>49・50 仕上げ・まとめ</p> <p>レザー作品</p> <p>51・52 製図・トワール組み・補正・縫代付きパターン作成</p> <p>53・54 裁断・縫製</p> <p>55・56 縫製</p> <p>57・58 縫製</p> <p>59・60 まとめ・発表・提出</p>

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版 オリジナルプリント、実物及び、部分縫い見本
『スカート』『ブラウス』『ワンピース』『パンツ』『ジャケット』『コート』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式、各自サイズのボディ

科目名	パターンメイキングⅢ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	江田 泉

【科目の到達目標】

基本パターンから各種デザインパターンへの理論的な展開方法を学び、デザイン・シルエットを表現したパターンの作成から工業用パターンの作成までを修得。
女子衣料の規格サイズの理解。既製のサイズ展開の基本知識を養う

【科目の概要】

ファッション産業において海外に生産を移行している時代、オリジナルデザイン・シルエットを表現できる技術は、確かなパターン力によるところが大きい。本授業では基本パターンの製図から各種デザインパターンへ理論的に展開し、トワールチェック後、工業パターン作成までの方法の修得、また基本のアイテムのサイズ展開の方法を修得する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	創作子供服 デザイン出し(トータルコーディネート)・作図 トワール組み立て・縫製仕様書	31・32	製品研究Ⅱ・ワンピース 作図
3・4	創作子供服 トワールチェック・補正・工業用パターン作成	33・34	製品研究Ⅱ・ワンピース トワール組み立てチェック・補正
5・6	創作子供服 工業用パターン作成・縫製仕様書・縫製指示書	35・36	製品研究Ⅱ・ワンピース レポート作成
7	1本ダーツ2本ダーツスカート	37・38	製品ジャケット 作図・トワール組み立て
8	サーキュラススカート・デザインスカートⅠ 作図・つながり補正	39・40	製品ジャケット トワール組み立てチェック
9・10	デザインスカート 作図・トワール組み立てチェック	41・42	製品ジャケット 補正・工業用パターン作成
11・12	デザインスカート 補正・工業用パターン作成	43・44	製品ジャケット 裏地パターン作成
13・14	ジャケット (テーラードマニプレーション) 作図・トワール組み立てチェック	45・46	メンズジャケット マスターパターン作成
15・16	ジャケット (テーラードマニプレーション) トワール組み立てチェック・補正・パターン作成	47・48	製図研究Ⅲ・デザイナーのデザイン画より デザイナーの意図をくんだパターン作図
17・18	ジャケット (テーラードマニプレーション) 表襟・見返しパターン作成	49・50	製図研究Ⅲ・デザイナーのデザイン画より 作図・トワール組み立て
19・20	ジャケット (テーラードマニプレーション) 工業用パターン作成	51・52	製図研究Ⅲ・デザイナーのデザイン画より トワール組み立てチェック・補正
21・22	グレーディング <概論> タイトスカート2本ダーツ・身頃	53・54	製図研究Ⅲ・デザイナーのデザイン画より 補正・縮尺製図付きレポート作成
23・24	グレーディング 身頃・襟・袖	55・56	製図研究Ⅲ・デザイナーのデザイン画より 補正・縮尺製図付きレポート作成
25・26	製品研究Ⅰ・ブラウス 作図・トワール組み立てチェック	57・58	まとめ
27・28	製品研究Ⅰ・ブラウス 補正・パターン作成・レポート	59・60	後期テスト
29・30	前期テスト		

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%
以上を指導要項の認定基準に基づき総合的に評価する

【教科書・参考書】

山路俊美 『紳士服製図・型紙の作り方』
相尾純子『パターングレーディング』 実物見本 オリジナルプリント

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール(デザインに合わせた的確な厚さの物)・miss10身頃原型
シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	ドレーピングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	上田安子パターン担当

【科目の到達目標】

各種デザインのディテール、シルエットを表現するテクニックを習得。
服のフォルムに対しての感性を高める。

【科目の概要】

ボディを使用しての立体裁断。
トワールを使用し立体によるデザイン表現を指導、
正確にパターンに落とし込めるよう指導。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	ドレーピング概論	31・32 創作作品
3・4	ドレープ襟のコート	33・34 ↓
5・6	バックにフリルのあるスカート	35・36 ツィストドレープのブラウス
7・8	↓	37・38 ↓
9・10	カウルネックの入ったブラウス	39・40 ペザントブラウス
11・12	↓	41・42 ↓
13・14	ショルダー切り替え・テーラードカラー	43・44 ギブソン・ガール・ブラウス
15・16	1枚袖 ジャケット	45・46 ↓
17・18	プリンセス切り替え・ショールカラー	47・48 ビスチェ
19・20	2枚袖 ジャケット	49・50 ↓
21・22	ジャケット 3面体	51・52 ロングドレス
23・24	↓	53・54 ↓
25・26	変わりテーラード ワンピース	55・56 創作ドレス
27・28	↓	57・58 ↓
29・30	テスト	59・60 テスト

【成績評価方法】

立体においてのトワールの扱い・ピンの打ち方・デザインの表現力を 課題評価60% 試験評価 30%
授業研究態度10%
以上を指導要項の認定基準に基づき総合的に評価する

【教科書・参考書】

オリジナルプリント 実物サンプル

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール(デザインに合わせて的確な厚さの物)・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	ファッションデザイン論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 40% 実習 60%
時間数	60	作成者	藤原 博之

【科目の到達目標】

デザインを考える能力の向上と、デザインに対する感性を身につける。

【科目の概要】

デザイン・商品企画に必要な知識と技術を学び、オリジナルデザインを追求する。
自身が制作したオリジナル作品をポートフォリオに編集・プレゼンテーション等で充実を図る

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	デザイン論Ⅲ概要	16	商品企画
2	デザイン発想	17	商品企画
3	デザイン発想	18	商品企画
4	デザイン発想	19	商品企画
5	デザイン発想	20	商品企画
6	外部コンテスト	21	商品企画
7	外部コンテスト	22	商品企画
8	外部コンテスト	23	商品企画
9	デザイン発想	24	商品企画
10	デザイン発想	25	商品企画
11	デザイン発想	26	商品企画
12	上田コレクションデザイン画	27	商品企画
13	上田コレクションデザイン画	28	商品企画
14	デザイン画選手権デザイン画	29	商品企画
15	テスト	30	テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリングブック』株式会社グラフィック社 2008年
Simon Seivewright『ファッションデザイン・リサーチ』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2011年□

【教材・教具】

パワーポイント、モニター、OHP、副教材(プリント配布)、PC 等
筆記用具、専用ノート、画材

科目名	コンピュータ演習Ⅲ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間部
学年	3年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	30	作成者	鶴 鉄雄

【科目の到達目標】

学んだことを主体的に、創造的で適切な方法で研究し応用し、技術・素材・イメージ・色彩に対して想像力を発揮し、独自に探求するスキルを身に付ける。また、主体的な行動し時間の管理と自己評価を意識しポジティブに活動する。□

【科目の概要】

ポートフォリオの作成を通して、トレンドファッションの美意識を読み解き、改変して市場性のある方法で、ライフスタイルに適用したかたちで商品化計画を行いプレゼンテーション用のドキュメントを完成させる。

【授業計画】

90/コマ

前期

- 1 自己PR表作成
- 2 ポートフォリオの考え方とWGSNの利用方法
- 3 ポートフォリオ編集の基本とグリッドの設計
- 4 Illustrator&Photoshop 復習
- 5 ブリーフ要素:(例)ブラウス, ジャケット
- 6 ◇ 縫製仕様書
- 7 ◇ ハンガーイラスト作成□
- 8 ◇ 製図(表地、裏地、芯地)□
- 9 ◇ パターンチェック 情報入力 縫代付け
- 10 ◇ マーキング 縫製指示書
- 11 ◇ 生地サンプル及び作成した生地
- 12 ◇ リサーチとインスピレーション
- 13 ◇ デザインと編集
- 14 ◇ プロトタイプ(試作)と改良
- 15 完成(プレゼンテーションとドキュメント)データ

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

『Fashion Design: 3rd edition(Portfolio) 2011 Laurence King (ASIN : B00KS1QJ24)』,
『ファッション・デザイン・ハンドブック, ファッションMOTプロジェクト研究報告書, 2009』

【教材・教具】

プリント or PDF配布 メモリフラッシュ メモ用筆記具

科目名	コンピュータ演習Ⅲ-B	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間部
学年	3年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	30	作成者	安田 圭織

【科目の到達目標】

現在のアパレル製品の製造に不可欠なCAD (Computer Aided Design)を使い各自がCADを理解し、ブラウス・ジャケットなどの工業用パターンを作成できる。各ソフトを利用し、仕様書・指示書をパターンに合わせ必要な内容を作成できる。

【科目の概要】

アパレルCAD (Computer Aided Design)とはコンピュータによる「パターン製作」などを行う機械、あるいはシステムのことを言い、時代に即した「アパレル生産」を極めるためには不可欠なものである。アパレルCADのソフトを理解し、パターンを引き、それに伴う仕様書などの書類を作成することを理解し、各自の発想の一つの手段として利用できるよう修得する。

【授業計画】

90分/コマ	後期
	1 アパレルCAD概論ブラウス 縫製仕様書作成(ハンガーイラスト復習)
	2 " 作図(表地、裏地) パターンチェック
	3 " 情報入力、縫代付け、マーキング
	4 " 縫製指示書作成
	5 ジャケット 縫製仕様書作成(ハンガーイラスト復習)
	6 " 作図 パターンチェック
	7 " 表地、裏地、芯地作成 工業用パターン作成
	8 " 情報入力、縫代付け
	9 " マーキング
	10 "
	11 "
	12 "
	13 "
	14 ジャケット 縫製指示書作成
	15 まとめ

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%

【教科書・参考書】

配布プリント
コンピュータ演習 * アパレルCAD *

【教材・教具】

筆記用具
プリント or PDF配布 メモリフラッシュ メモ用筆記具

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 80% 小テスト 20%
時間数	30	作成者	相馬成男

【科目の到達目標】

アパレル製品の企画・設計、工業生産（縫製・プレス）、出荷に至る各工程では、デザイナー、マーチャンダイザー、パタンナー、縫製担当者、生産管理者、品質管理者など多くの専門技術者・技能者が携わっており、それぞれの業務の基礎知識と技術、もの作りに対する考え方が理解できる人材育成を目指し、社会へ出て自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れることができることを目標とする。

【科目の概要】

専門学校では注文服（オートクチュール）作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服（プレタポルテ）が主流であり、工業生産的のもの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業の役割、繊維製品の品質に関わる法律、JIS衣料サイズ、表素材・副資材の品質管理、工業パターン設計方法、縫製加工、生産工程管理・品質管理と原価計算を修得する。

【授業計画】

90分/コマ

後期

- 第1週 ・縫製工学とは ・アパレル業と縫製加工業（Ⅰ）
- 第2週 ・アパレル業と縫製加工業（Ⅱ） ・衣服の品質に関わる法律（Ⅰ）
- 第3週 ・衣服の品質に関わる法律（Ⅱ）
- 第4週 ・JIS衣料サイズ
- 第5週 ・衣服の品質（Ⅰ）
- 第6週 ・衣服の品質（Ⅱ） ・原反検査（Ⅰ）
- 第7週 ・原反検査（Ⅱ）
- 第8週 ・副資材と付属品・・・芯地、接着芯地
- 第9週 ・副資材と付属品・・・裏地、縫い糸、ボタン、ファスナー、中入れ綿
- 第10週 ・工業用パターンと縫製仕様書 ・グレーディング
- 第11週 ・縫製準備工程
- 第12週 ・縫い目形式、工業用ミシン・縫合、工業用ミシン針
- 第13週 ・アイロン ・プレス
- 第14週 ・縫製工程の管理・・・生産システム、縫製工程表
- 第15週 ・縫製工程の管理・・・品質管理、原価計算

【成績評価方法】

- ・平常点（出席率、授業態度）・・・10%
- ・理解力（毎回の小テスト）・・・50%
- ・理解力（期末試験）・・・40%

【教科書・参考書】

・『縫製工学』齋藤景一郎著 2版 上田学園服飾手帖社2015年3月1日発行

【教材・教具】

- ・教科書（適宜配布資料）
- ・筆記具

科目名	西洋美術史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	山本廣道

【科目の到達目標】

主として近世(ルネサンス)から現代美術に至る知識を獲得し、これまでの流れを踏まえ、その先端としての創作ができる人材を育成する。

【科目の概要】

初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。また二回に一回(30分程度)4~5人である作品について考え結論を出すというグループワークを行う。

【授業計画】

90分/コマ

後期

- 1 初期ルネサンス美術1: マザッチョ、ピエロ・デラ・フランチェスカ、ボッティチェリなど
- 2 初期ルネサンス美術2: ルネサンス美術の特徴、遠近法(透視図法)とはなにか
- 3 盛期ルネサンス1: レオナルド・ダ・ヴィンチについて
- 4 盛期ルネサンス2: ミケランジェロ、ラファエロなど
- 5 マニエリスム美術: ティントレット、ブロンズイーノなど
- 6 バロック美術: ヴェルフリンによるバロック美術解釈、ルーベンス、ベラスケスなど
- 7 ロココ美術: ロココの特徴、ヴァトー、フラゴナールなど
- 8 19世紀の美術1: 新古典主義、ロマン主義
- 9 19世紀の美術2: レアリスム、マネの作品、印象主義
- 10 19世紀の美術3: 後期印象主義、世紀末美術
- 11 古代~中世の美術1
- 12 古代~中世の美術2
- 13 20世紀の美術1: キュビズム、ダダイズム、シュルレアリスムなど
- 14 20世紀の美術2: 第二次世界大戦後の美術
- 15 全体のまとめ、テスト問題の傾向

【成績評価方法】

平常点(演習問題、グループワーク、授業態度など)50%、テスト(期末一回)50%で評価を行う

【教材・教具】

教科書: 千足伸行監修 『新西洋美術史』(西村書店)

【教材・教具】

科目名	ファッションビジネス論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	秦野知邦

【科目の到達目標】

ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける
 社会人としてのコミュニケーション能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける
 一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を体得する

【科目の概要】

ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、パーパスを考える
 アパレル業界の仕組みや流れを理解し、今の時代に合ったビジネスをデザインする
 最新の業界の情報を新聞・雑誌・ネット情報だけでなく、リサーチなど行動して五感で感じる

【授業計画】

前期	
90分/コマ	
1	ファッションの魅力とファッションビジネスの現状についての講義 ・即戦力＝今、企業が求める人材とは
2	ブランドの魅力とブランド戦略についての講義 ・パラダイムシフトにどのように対応するか→OMOビジネス
3	マーケティングのプロセスについての講義 ・コトラーの【マーケティング4.0】
4	デジタルマーケティングについての講義 ・CX/UX・カスタマージャーニーマップ・ペルソナの重要性について
5	ブランディング戦略についての講義 ・ブランドエクイティ・ブランドコンセプト・ブランドアイデンティティなど
6	one to oneビジネスについての講義 ・Z世代の消費行動→自己実現ベネフィットなど
7	CXによるロイヤルカスタマー化への重要性についての講義 ・【LTV】【ユニファイドコマース】など
8	これからのマーチャンダイザーに必要とされる能力についての講義 ・【マーケティング5.0】
9	【D2C/DNVB】ビジネスについての講義 ・海外国内の実例からビジネスを考える
10	パーパスのあるブランド/企業の重要性についての講義 ・WHYから始める→イミ消費
11	【D2C/DNVB】マーケティング・ブランディング戦略についての講義 ・D2Cビジネスのプロセス
12	サステナブルファッションとサーキュラーファッションについての講義 ・カーボンニュートラル・3R・アップサイクルなどの現状を知る
13	即戦力として、知っておきたい計数/取引慣行についての講義 ・損益分岐点・5つの利益など
14	ファッションの仕事にたずさわることのすばらしさを再確認するための講義 ・これからの消費のあり方やモノの先にあるものの大切さなど
15	期末テスト ・筆記試験90分

【成績評価方法】

ノートによる評価 40% テスト40% 授業態度20%

【教科書・参考書】

日経MJ ・ 織研新聞 ・ 読売新聞 ・ WWD ・ プレジデント

【教材・教具】

ビジネス論専用ノート・筆記用具